

2019年10月3日

中国・瀋陽秋実農業科技發展社との植物工場事業における戦略的提携について

三菱ケミカル株式会社

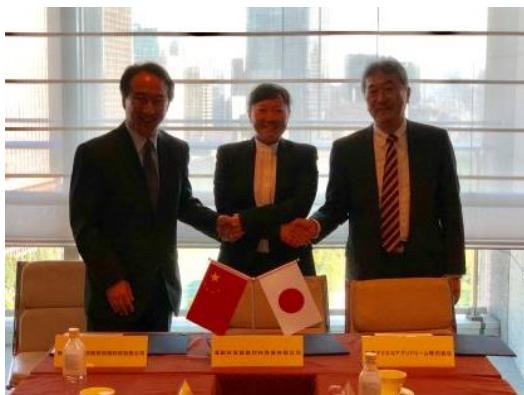
三菱ケミカル株式会社（本社：東京都千代田区、社長：和賀 昌之）は、瀋陽秋実農業科技發展有限公司（本社：中華人民共和国遼寧省、董事長：栾冰、以下「瀋陽秋実」）との間で、植物工場事業に関する戦略的提携について合意しましたので、お知らせいたします。当社子会社の三菱ケミカルアグリドリーム株式会社及び無錫菱陽生態農業設施科技有限公司（以下当社を含めた3社を総称して「三菱ケミカル」）が、9月6日に瀋陽秋実との間で戦略的パートナーシップ協定を締結しました。

瀋陽秋実は、中国・東北地方に強いネットワークを持つ育苗業者で、2018年より三菱ケミカルの植物工場システムを導入し、年間500万株の苗、及び年間60トンの葉物野菜を生産しております。今般の戦略的提携の内容は、以下のとおりです。

- (1) 中国初となるトマト及びイチゴを対象とする植物工場システムの瀋陽秋実への納入
- (2) 三菱ケミカルによる納入後の当該植物工場のトマト及びイチゴの実証農場としての活用
- (3) 瀋陽秋実による三菱ケミカルの植物工場の中国東北地域及び内モンゴルにおける拡販協力

近年、中国市場においては、より新鮮でおいしく、さらには安心、安全な食材への関心が急速に高まりを見せています。また、食肉の消費量が年々増加するに伴い、副菜として生野菜のサラダを食べる習慣が浸透し始めるなど、消費者のなかで高付加価値を有するプレミアム野菜の購入意欲が高まりつつあり、三菱ケミカルは戦略的市場と位置付けております。

今般の瀋陽秋実との戦略的提携により、三菱ケミカルは、中国における植物工場事業のさらなる強化を図ります。三菱ケミカルは今後も、投資や提携等を通じて成長著しいアジア市場の需要を取り込み、積極的に事業を展開していきます。



調印式の様子



納入した植物工場

以上

お問合せ先

株式会社三菱ケミカルホールディングス 広報・IR室

TEL 03-6748-7140